

◎団体戦の考え方

①

限られた時間の中で円滑な運営を行うため、4単1複・重複出場なしを原則とする

→ これは6人で1チームを意味する

試合順序は1番ダブルス、2番から5番までをシングルスとする

主催者としては幅広く出場機会を確保したいという観点から、

4人以上であれば4番5番のシングルスを棄権扱いとして、対戦試合の勝敗を成立させる

→ 従って、以下のような事例も可とする

部員10人のとき6人1チームだけでなく、5人+5人=2チーム参加の方法も可

部員9人のとき6人1チームだけでなく、5人+4人=2チーム参加の方法も可

(ただし、部員8人の場合、4人+4人=2チーム参加の方法は避けて欲しい)

→ このことを受けて、対戦方法は以下のとおりとする

6人对5人、又は5人对5人の場合、5番シングルスを棄権扱い

6人对4人、5人对4人、若しくは4人对4人の場合、4番・5番シングルスを棄権扱い

勝敗は3試合を先取したチームの勝ちとする

(ただし、4人对4人の場合は2試合先取)

○ これらのことから、6人未満でもチームが可能となり、より多くの部員が出場できる

○ ダブルス戦の比重が高くなることにより、試合の進行が早まる

○ 強い選手だけを4人集めたようなチーム編成というものを避けられる

※ 指導者の皆さまのご理解と、ご協力のほど、お願い申し上げます

◎団体戦:選手変更について

②

- ☆ 大会当日、諸般の事情によりチーム間の移動を伴う選手の変更は、これを可とする
 - ・ 朝の受付の際、顧問の責任で大会本部席において届出をすること

◎団体戦:出場選手数に係わる試合結果の記録について

- ☆ 6人対5人、又は5人対5人の場合、5番シングルスを棄権扱い
 - ・ 6人対5人の場合で4試合目までの対戦成績が2勝2敗の場合、
→ 6人の方を3対2で勝ちとする
 - ・ 5人対5人の場合で4試合目までの対戦成績が2勝2敗の場合、
→ ダブルス戦を取ったチームを勝ちとする(記録は3対2)
- ☆ 6人対4人、5人対4人、若しくは4人対4人の場合、4番・5番シングルスを棄権扱い
 - ・ 6人対4人、5人対4人の場合で4人の方の3試合目までの対戦成績が1勝2敗であれば、
→ 記録上は1対3で負けとする
 - ・ 5人対4人の場合で3試合目までの対戦成績が2勝1敗で4人の方が2勝している時は、
→ ダブルス戦を取ったチームを勝ちとする(記録は3対2)
 - ・ 4人対4人の場合で3試合目までの対戦成績が2勝1敗になった時は、
→ 2勝したチームを勝ちとする(記録は3対1)